

平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

調査結果の概要

1. 調査の概要

(1) 調査目的

- ア. 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ. 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ. 各国公立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査実施期間 平成29年(2017年)4月～7月末

(3) 調査対象 小学校5年生・中学校2年生の児童・生徒

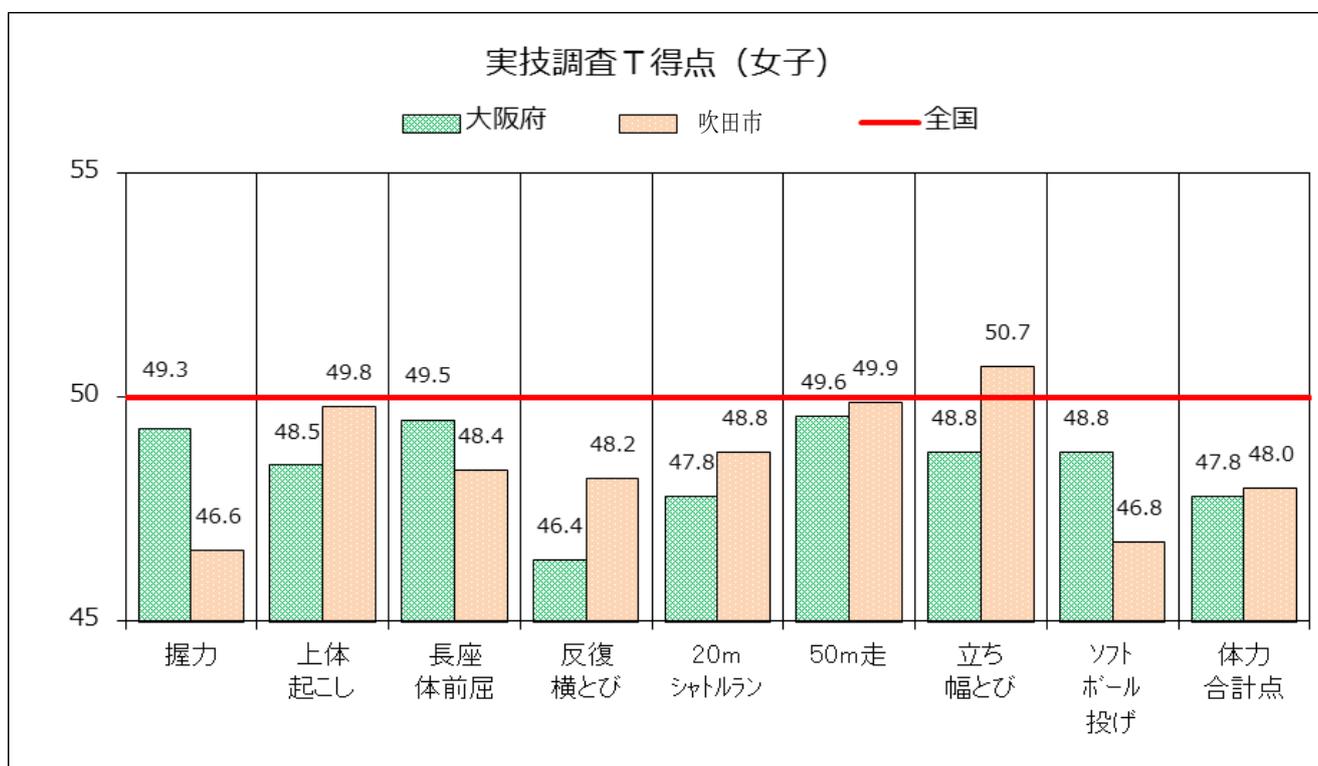
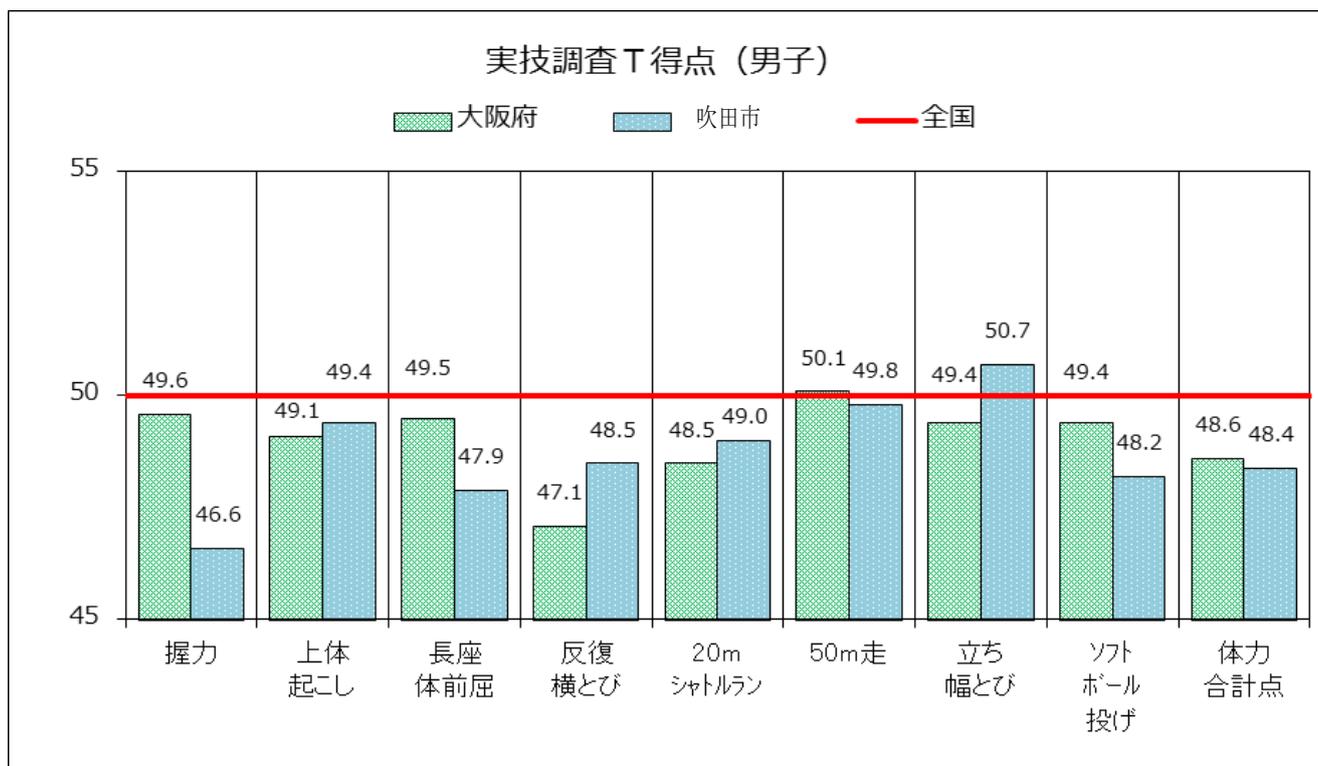
(4) 調査内容

- ア. 実技に関する調査 : 小学校【8種目】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げ
中学校【8種目】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、20mシャトルラン、持久走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
(※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)
- イ. 質問紙調査 : 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査
- ウ. 学校に対する質問紙調査 : 子供の体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

2. 実技調査の概要

【小学校5年生】

平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より



(上のグラフは、調査の各種目について、全国値を50としたときの、大阪府と本市の児童・生徒の結果(Tスコア)を表したものです。)

《全国値比較》全国値を50としたときの、大阪府と本市の児童・生徒の結果（Tスコア）で比較。

男子

- ・立ち幅とびは、やや上回っている。
- ・上体起こし・50m走は、ほぼ同じ。
- ・反復横とび・20mシャトルラン・ソフトボール投げは、やや下回っている。
- ・長座体前屈・握力は、下回っている。
- ・体力合計点
男子・・・48.4（全国値50）でやや下回っている。
（昨年度は48.5）

Tスコアの判断基準
 ±0.5・・・ほぼ同じ
 ±2・・・やや上回っている・
 やや下回っている
 ±2より上・・・上回っている・
 下回っている

女子

- ・立ち幅とびは、やや上回っている。
- ・上体起こし・50m走は、ほぼ同じ。
- ・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルランは、やや下回っている。
- ・握力・ソフトボール投げは、下回っている。
- ・体力合計点
女子・・・48.0（全国値50）でやや下回っている。
（昨年度は48.1）

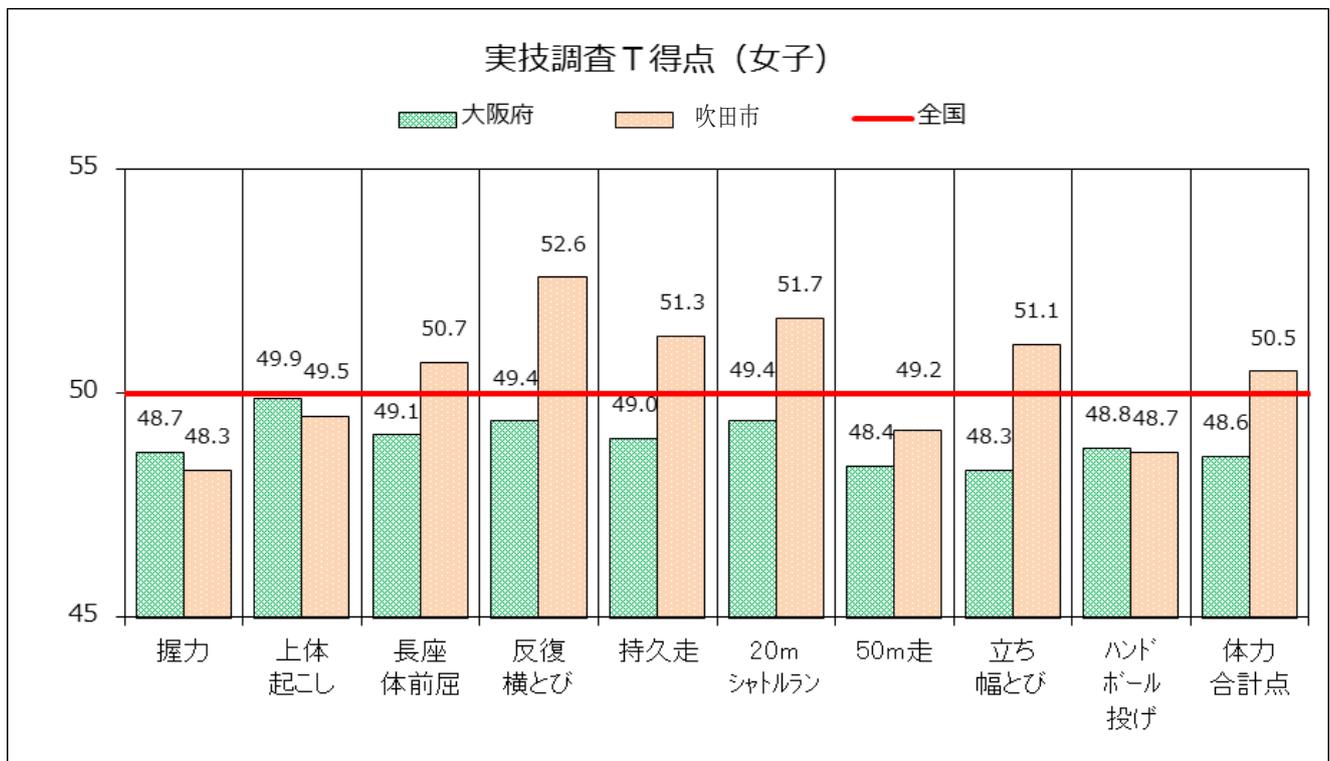
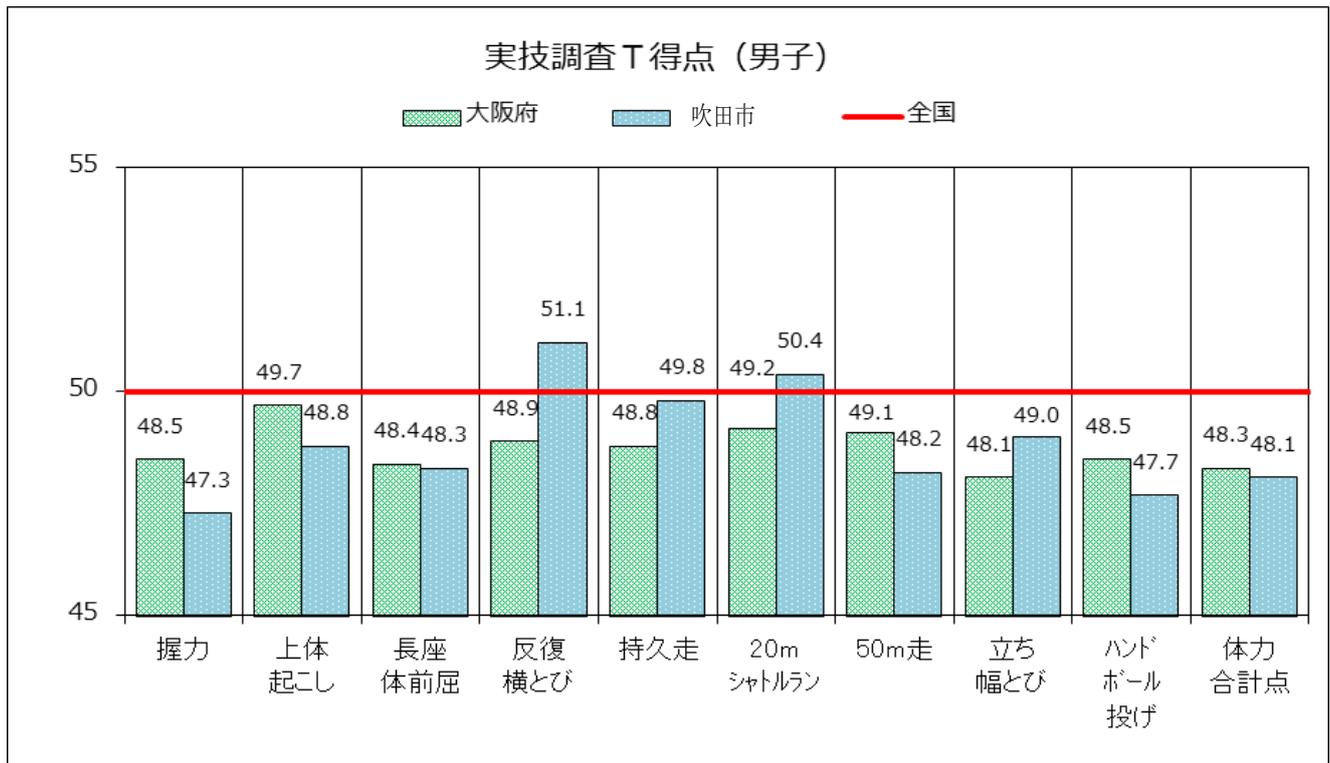
※参考 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ()内はTスコア

小学校 5年男子	握力【kg】	上体起こし 【回】	長座体前 屈【cm】	反復横とび 【点】	20mシャト ルラン【回】	50m走【秒】	立ち幅とび 【cm】	ソフトボー ル投げ【m】	体力合計 点【点】
全国	16.51 (50)	19.92 (50)	33.15 (50)	41.95 (50)	52.24 (50)	9.37 (50)	151.71 (50)	22.53 (50)	54.16 (50)
大阪府	16.37 (49.6)	19.40 (49.1)	32.76 (49.5)	39.65 (47.1)	49.14 (48.5)	9.36 (50.1)	150.39 (49.4)	22.01 (49.4)	52.90 (48.6)
吹田市	15.25 (46.6)	19.54 (49.4)	31.43 (47.9)	40.75 (48.5)	50.23 (49.0)	9.39 (49.8)	153.32 (50.7)	21.09 (48.2)	52.71 (48.4)
H28 吹田市	15.12 (46.4)	19.05 (48.9)	31.60 (48.4)	39.62 (47.0)	51.30 (49.7)	9.31 (50.8)	154.01 (51.2)	21.61 (49.0)	52.56 (48.5)

小学校 5年女子	握力【kg】	上体起こし 【回】	長座体前 屈【cm】	反復横とび 【点】	20mシャト ルラン【回】	50m走 【秒】	立ち幅とび 【cm】	ソフトボー ル投げ【m】	体力合計 点【点】
全国	16.12 (50)	18.81 (50)	37.43 (50)	40.06 (50)	41.62 (50)	9.60 (50)	145.47 (50)	13.94 (50)	55.72 (50)
大阪府	15.84 (49.3)	18.00 (48.5)	36.99 (49.5)	37.52 (46.4)	37.95 (47.8)	9.64 (49.6)	143.03 (48.8)	13.39 (48.8)	53.82 (47.8)
吹田市	14.83 (46.6)	18.69 (49.8)	36.11 (48.4)	38.74 (48.2)	39.56 (48.8)	9.62 (49.9)	146.96 (50.7)	12.40 (46.8)	53.98 (48.0)
H28 吹田市	14.61 (46.0)	18.29 (49.4)	36.39 (49.0)	38.14 (47.3)	40.16 (49.3)	9.57 (50.5)	146.58 (50.6)	12.51 (47.2)	53.89 (48.1)

【中学校 2 年生】

平成 2 9 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より



(上のグラフは、調査の各種目について、全国値を 5 0 としたときの、大阪府と本市の児童・生徒の結果 (Tスコア) を表したものです。)

《全国値比較》全国値を50としたときの、大阪府と本市の児童・生徒の結果（Tスコア）で比較。

男子

- ・反復横跳びは、やや上回っている。
- ・持久走・20mシャトルランは、ほぼ同じ。
- ・上体起こし・長座体前屈・50m走・立ち幅跳びは、やや下回っている。
- ・握力・ハンドボール投げは、下回っている。
- ・体力合計点
男子・・・48.1（全国値50）でやや下回っている。
（昨年度は48.8）

女子

- ・反復横跳びは、上回っている。
- ・長座体前屈・持久走・20mシャトルラン・立ち幅跳びは、やや上回っている。
- ・上体起こしは、ほぼ同じ。
- ・握力・50m走・ハンドボール投げは、やや下回っている。
- ・体力合計点
女子・・・50.5（全国値50）でやや上回っている。
（昨年度は50.2）

Tスコアの判断基準
 ±0.5・・・ほぼ同じ
 ±2・・・やや上回っている・
 やや下回っている
 ±2より上・・・上回っている・
 下回っている

※参考 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ()内はTスコア

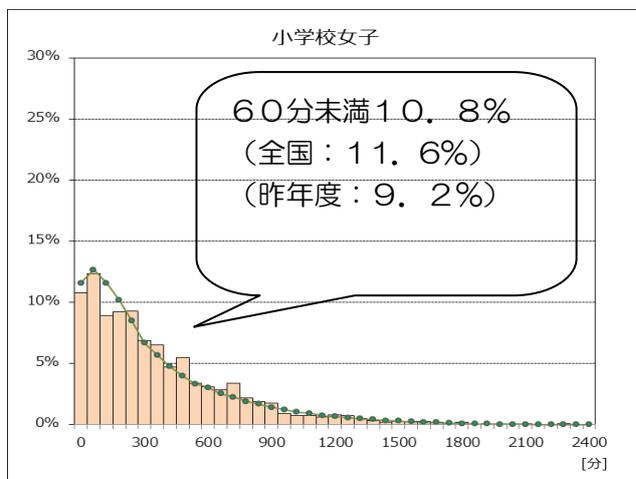
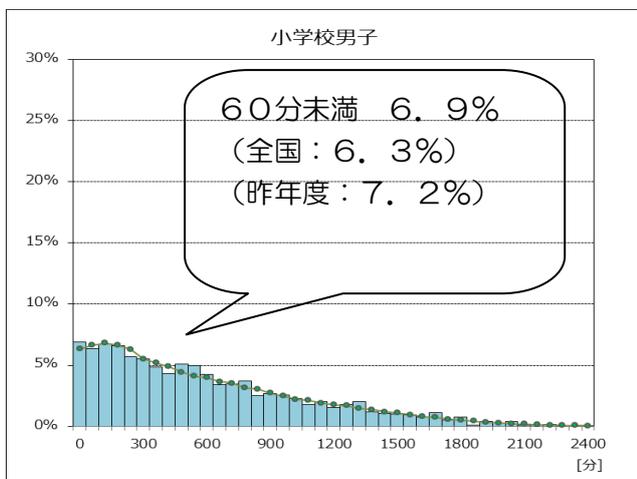
中学校 2年男子	握力【kg】	上体起こし【回】	長座体前屈【cm】	反復横とび【点】	持久走【秒】	20mシャトルラン【回】	50m走【秒】	立ち幅とび【cm】	ハンドボール投げ【m】	体力合計点【点】
全国	28.89 (50)	27.45 (50)	43.20 (50)	51.89 (50)	391.23 (50)	85.99 (50)	7.99 (50)	194.54 (50)	20.56 (50)	42.11 (50)
大阪府	27.79 (48.5)	27.26 (49.7)	41.57 (48.4)	50.98 (48.9)	398.96 (48.8)	83.97 (49.2)	8.07 (49.1)	189.19 (48.1)	19.69 (48.5)	40.39 (48.3)
吹田市	26.96 (47.3)	26.68 (48.8)	41.44 (48.3)	52.80 (51.1)	392.36 (49.8)	87.06 (50.4)	8.15 (48.2)	191.60 (49.0)	19.28 (47.7)	40.17 (48.1)
H28 吹田市	26.56 (46.7)	27.09 (49.4)	41.89 (48.9)	52.72 (51.0)	389.63 (50.3)	88.99 (51.1)	8.15 (48.7)	192.96 (49.4)	19.35 (47.8)	40.90 (48.8)

中学校 2年女子	握力【kg】	上体起こし【回】	長座体前屈【cm】	反復横とび【点】	持久走【秒】	20mシャトルラン【回】	50m走【秒】	立ち幅とび【cm】	ハンドボール投げ【m】	体力合計点【点】
全国	23.82 (50)	23.73 (50)	45.86 (50)	46.76 (50)	287.36 (50)	59.14 (50)	8.80 (50)	168.57 (50)	12.96 (50)	49.97 (50)
大阪府	23.20 (48.7)	23.68 (49.9)	45.02 (49.1)	46.34 (49.4)	291.74 (49.0)	57.93 (49.4)	8.93 (48.4)	164.30 (48.3)	12.46 (48.8)	48.46 (48.6)
吹田市	23.04 (48.3)	23.43 (49.5)	46.57 (50.7)	48.53 (52.6)	281.64 (51.3)	62.53 (51.7)	8.87 (49.2)	171.22 (51.1)	12.44 (48.7)	50.50 (50.5)
H28 吹田市	22.66 (47.6)	23.37 (49.8)	45.40 (49.9)	48.19 (52.3)	285.53 (50.7)	62.01 (51.6)	8.88 (49.4)	171.05 (51.1)	12.20 (48.4)	49.80 (50.2)

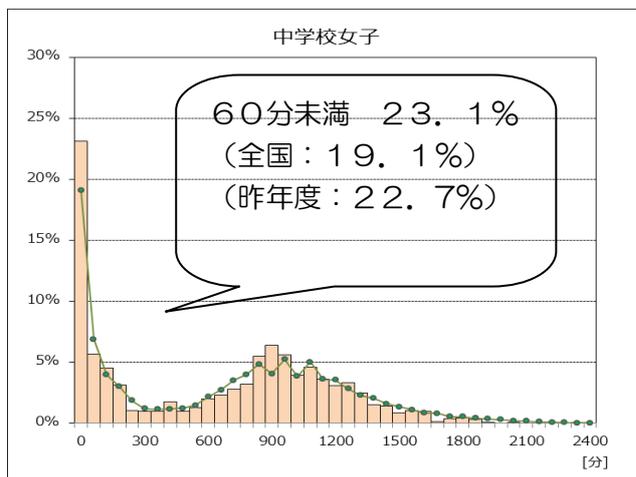
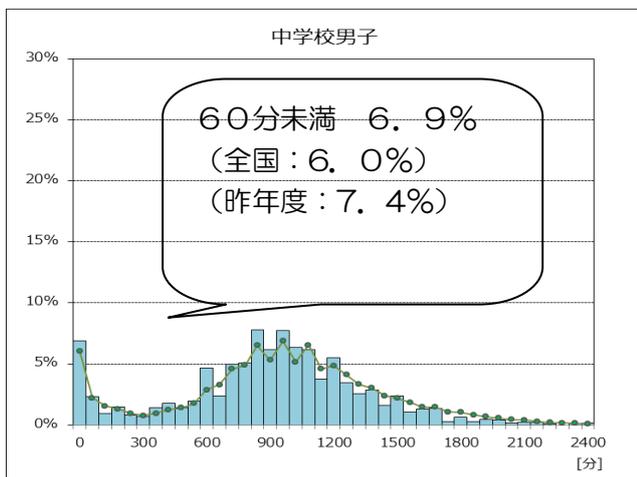
3. 児童生徒質問紙調査の概要

1 週間の総運動時間の状況

【小学校5年生】※折れ線グラフは、全国（国公立私立学校の分布です）



【中学校2年生】※折れ線グラフは、全国（国公立私立学校の分布です）



☆「1週間の総運動時間」と「体力合計点」の関係（数値は体力合計点の平均点）

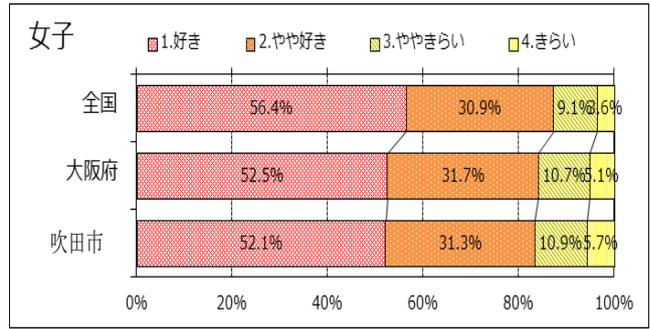
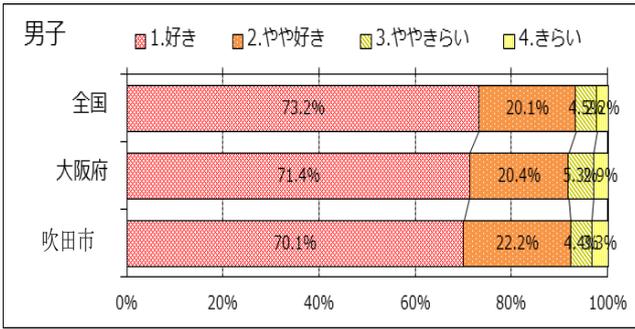
	14時間 以上	7～14時間 未満	3.5～7時間 未満	1～3.5時間 未満	1～60分 未満	0分
小5男子	57.4	54.0	50.8	47.7	44.0	42.2
小5女子	59.2	57.1	54.1	50.9	48.2	48.6
中2男子	41.8	39.7	37.5	45.4	43.5	37.0
中2女子	56.5	51.7	46.0	44.7	41.9	41.7

・吹田市における1週間の総運動時間は、全国・大阪府と比較して大きく上回っており、中学2年生男子を除いて体力合計点も高い。しかし、中学校では、総運動時間60分未満の割合が高くなり、二極化を示している。総運動時間が多いほど体力合計点が概ね高いという関係が見られることから、体力合計点も二極化していると言える。

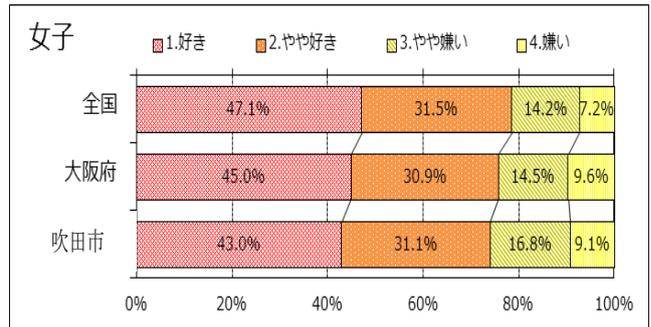
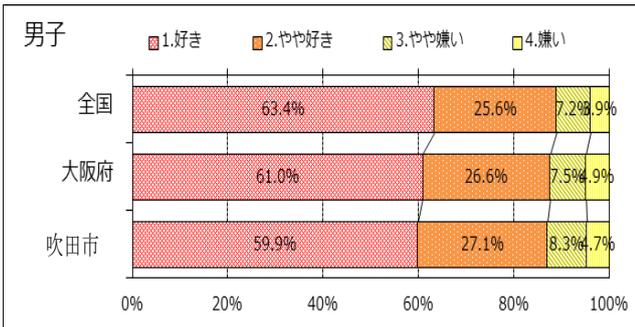
総運動時間の減少が、個々の趣向に合わせた運動以外の活動が増えたことによるとも考えられるが、運動機会が得られる環境が整っているかという点についても検証が必要である。

運動が好き

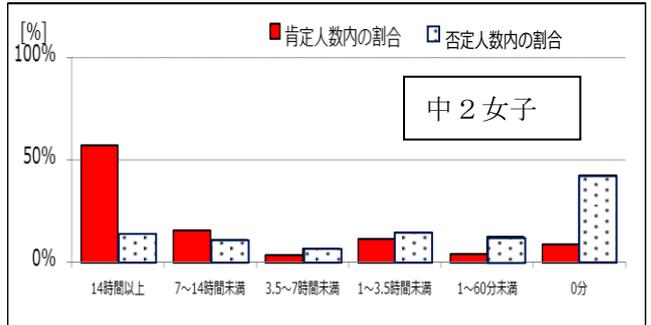
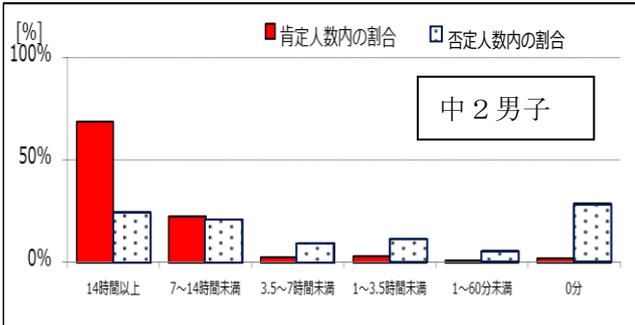
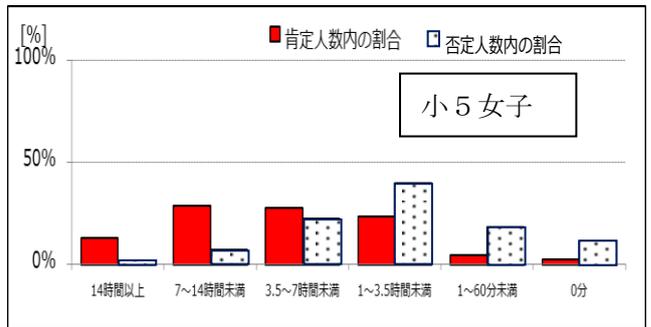
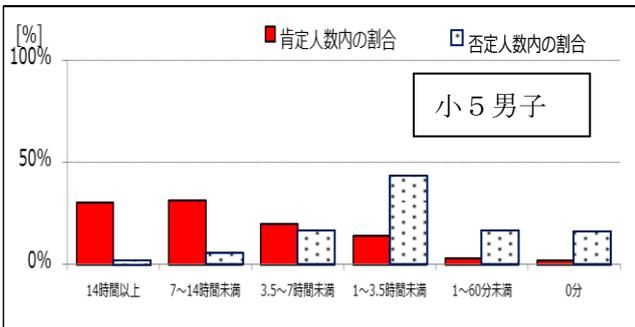
【小学校5年生】



【中学校2年生】



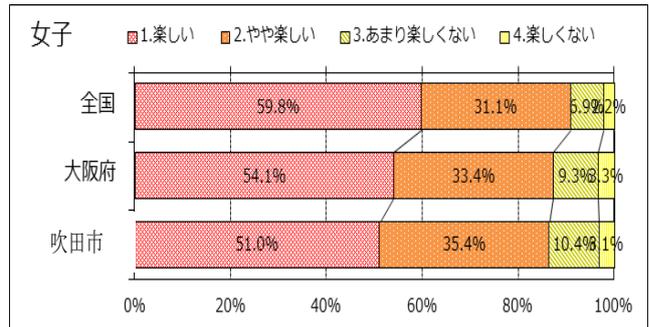
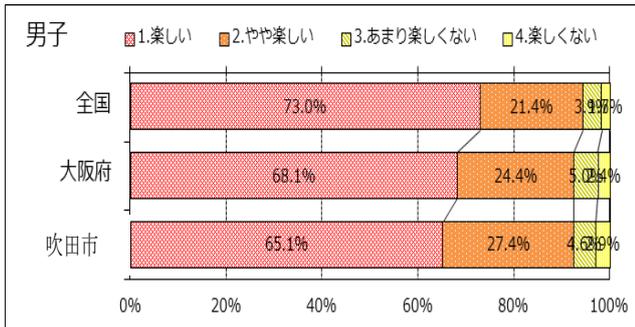
☆「運動が好き」の肯定・否定に対する回答と「総運動時間」の関係



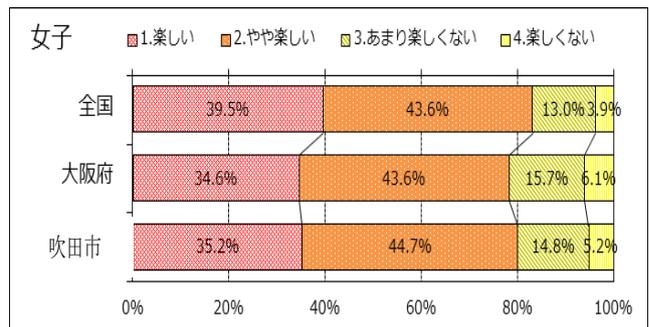
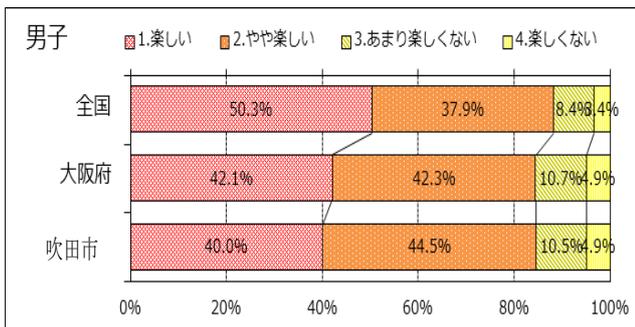
- ・「運動が好き」の質問に対して、否定的回答をする児童生徒は、小学5年生から中学2年生になるにつれ、全国・大阪府も増加傾向にあるが、吹田市ではその傾向がやや高い。
- ・否定的回答をした児童生徒の中では、小学5年生は1時間以上3.5時間未満にピークがあるが、中学2年生では0分にピークが移っている。否定的な回答をした児童生徒の運動機会として、学校での体育科・保健体育科の学習の重要性が高まっていると考えられる。

体育の授業は楽しい

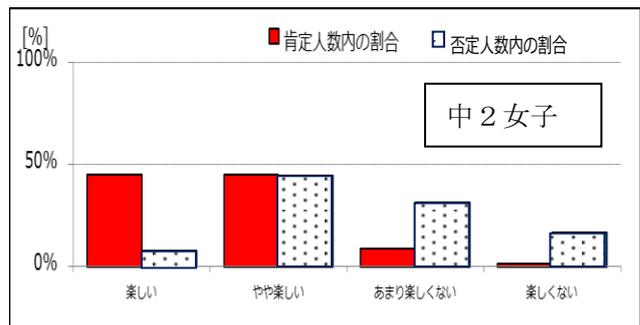
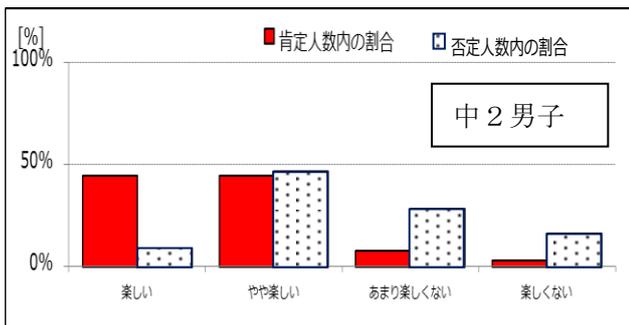
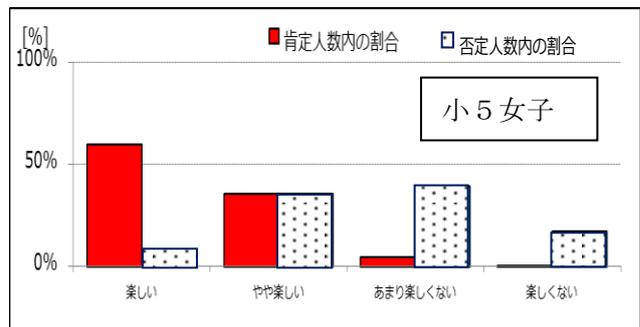
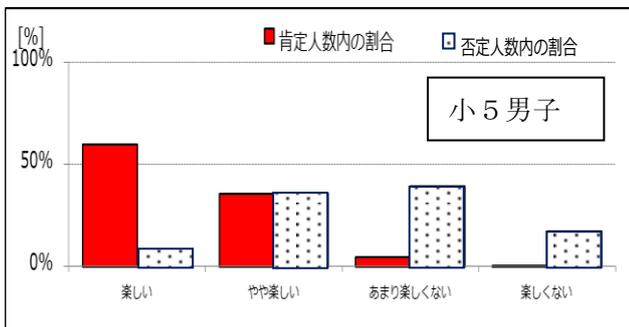
【小学校5年生】



【中学校2年生】



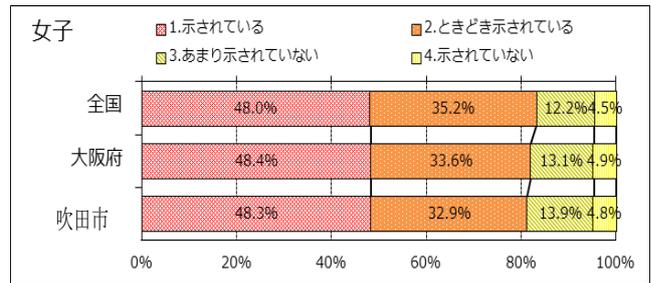
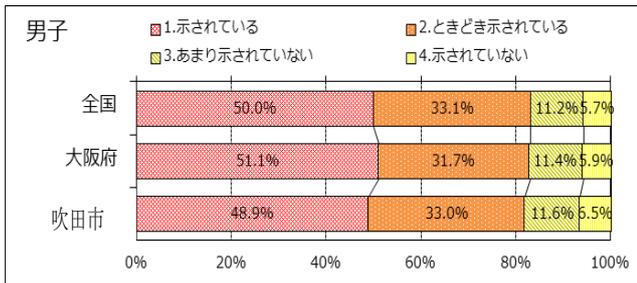
☆「運動が好き」の肯定・否定に対する回答と「授業が楽しい」の関係



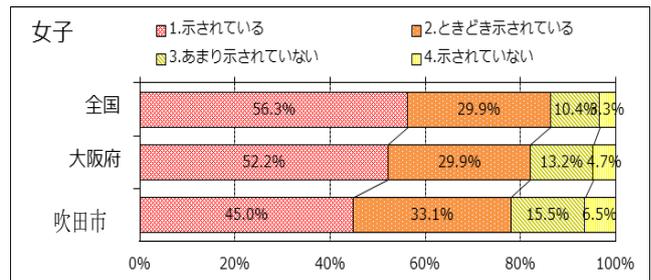
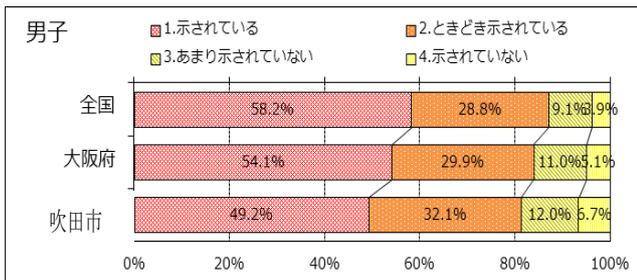
- ・「体育の授業は楽しい」の質問に対して、小学校では、全国・大阪府と比較すると、肯定的な回答はやや下回っている。中学校では、全国値をやや下回っているものの、大阪府の値と比較すると、男子はほぼ同じ、女子はやや上回っている。
- ・「運動が好き」で、否定的に回答をしている中でも、「授業が楽しい」の回答では、肯定と否定が約半数となっている。授業を通して運動の楽しさを実感できる機会をつくることができていると考えられるので、今後も運動に対して関心が低い児童生徒に対してどのような授業が効果的であるかを踏まえた取組が必要である。

体育授業の目標が示されている

【小学校 5 年生】

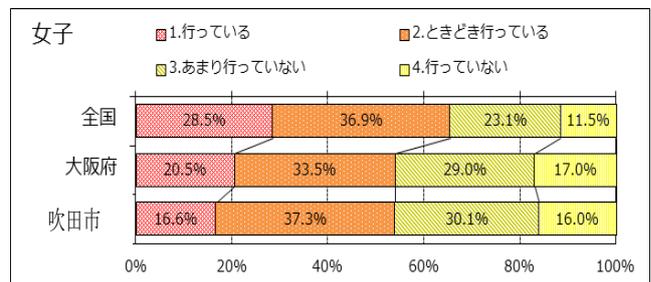
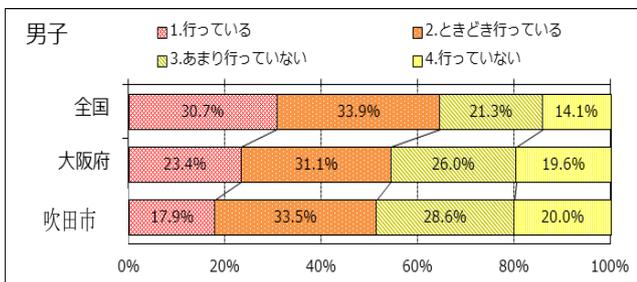


【中学校 2 年生】

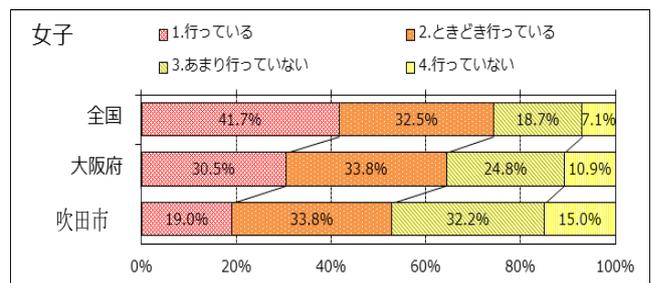
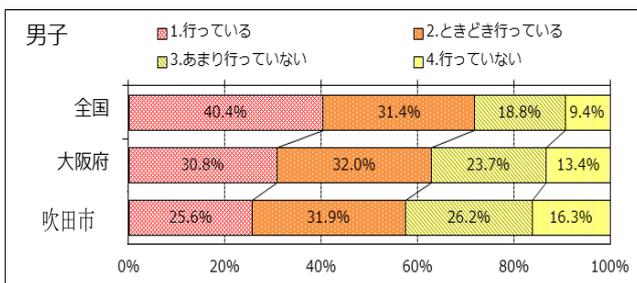


体育の授業でふり返る活動を行っている

【小学校 5 年生】



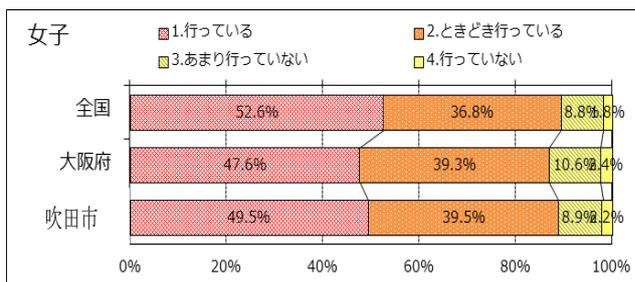
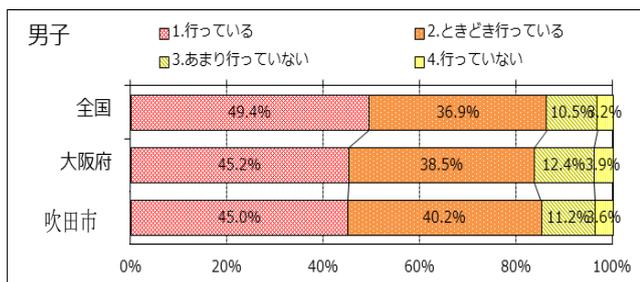
【中学校 2 年生】



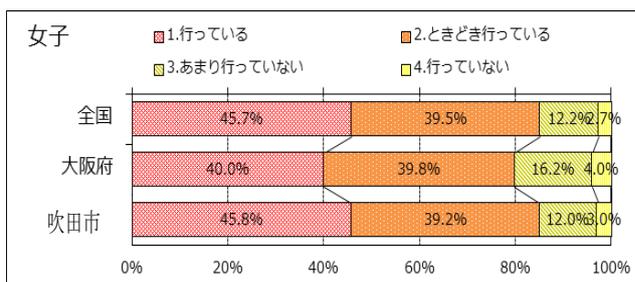
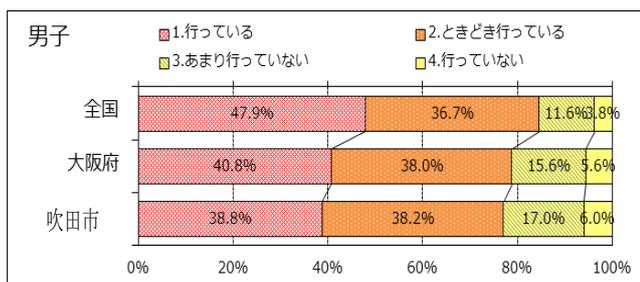
- ・「目標の提示」について、小学校では全国・大阪府とほぼ同じ割合であるが、中学校ではやや下回っている。
- ・「ふり返る活動」について、小学校・中学校ともに、全国・大阪府を下回っている。
- ・「ふり返る活動」は、記録をワークシートに書き記したり、グループでの話し合い活動を取り入れたりする方法が考えられる。他の教科と同様に指導と評価を一体として、一人ひとりが個人内評価を行う機会をどのように取り入れていくか、運動への意欲・関心との関連の中で取組を研究していく。

体育授業で助け合う活動を行っている

【小学校 5年生】

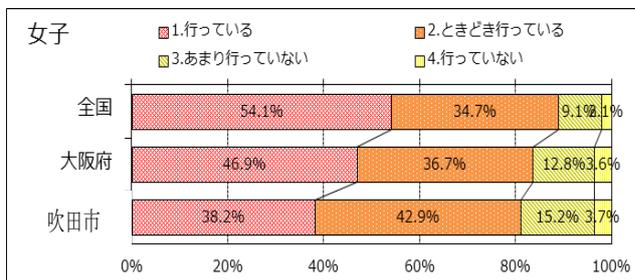
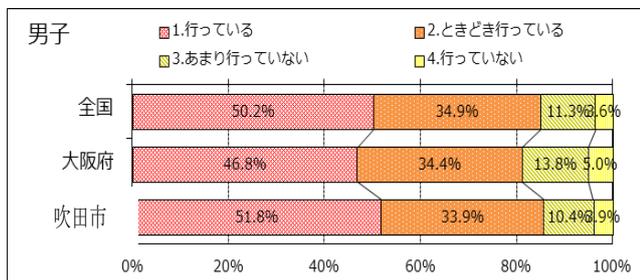


【中学校 2年生】

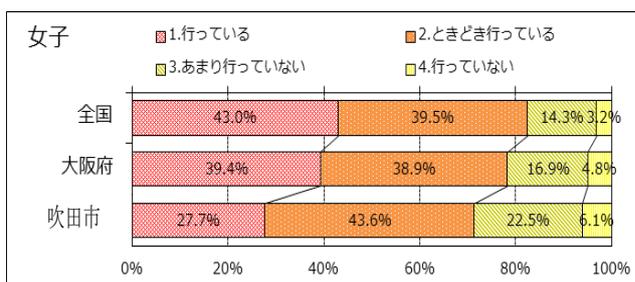
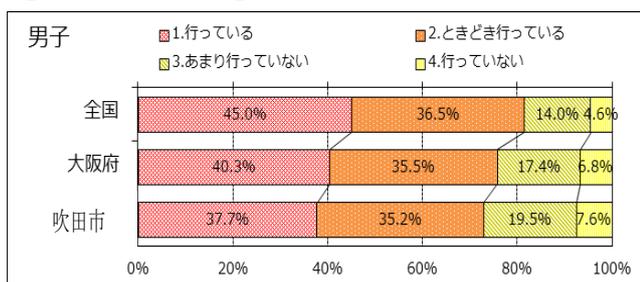


体育授業で話し合う活動を行っている

【小学校 5年生】



【中学校 2年生】



- ・小学校では、「助け合う活動」「話し合う活動」はともに大阪府を上回り、全国値とほぼ同じになっている。チームで取り組む活動に加えて、ペアやグループ学習といった学習形態でも行われていることや、副読本を活用していることが要因として考えられる。
- ・中学校では、全国・大阪府をともに下回っているが、「できなかったことができるようになったきっかけ」の質問に対して、「友達に教えてもらった」を選択した生徒の割合が、男子女子とも高く、このことから、関わり合って学ぶことで、運動がよりできるようになると考える生徒が多く、授業においても、関わり合う場の設定は有効である。

4. 今後の方針

調査結果から、児童・生徒の体力は運動に対する意識調査や運動習慣と相関関係があり、学校における体育の指導とのつながりも見られます。全市的な傾向・課題を踏まえると、子供たちの体力向上を図るためには、教員の指導力の向上が必要であり、教育委員会として「体力向上につながる主な視点」の見直しを図りました。(昨年度より、下線部を追記しています。)

体力向上につながる主な視点

①体育授業づくり

- 運動の楽しさやできる喜びを体感できるようにする。
- ICT機器を効果的に活用する。

②体育授業の質的向上

- 授業の始めに目標（めあて・ねらい）を明確にし、活動のふり返しを行うことで、学習成果を実感できる機会を設ける。
- 学習の内容を振り返る時間を確保する。
- 先生と子供同士の関わり（助け合い・話し合い）を深め学習を進める。
- 授業における運動量を確保する。
- 若手教職員への実技研修会の機会を増やす。

③体育授業の研究と実践【研究の視点】

- 課題を見出し、課題克服のために考察する。
- 課題達成に向けて自ら取組む姿勢を醸成する。
- 体力・運動能力向上の目標を設定し、苦手な児童に応じた指導・手だてを工夫する。

④運動の習慣化、生活化へにつながる実践

- ⑤「体力づくり推進計画」を策定するなど、各校の体力向上PDCAサイクルの確立に努める。



**生涯にわたって豊かなスポーツライフを
実現する資質や能力の育成**

今後も、学校が「体力向上につながる主な視点」をもとに、日々の体育授業での実践や授業研究等、体力向上の取組を進めるとともに、家庭・地域と手を携えながら体力向上に向けた教育活動の充実・発展を図ることができるよう、教育委員会として支援してまいります。

平成30年（2018年）3月